“経営に知恵と革新”

令和２年９月１日発行（隔月発行）Vol.754 号

マネジメント コンサルタント

Management Consultant

2020 年９月・10 月号

信濃川にかかる万代橋（新潟県）

認定経営革新等支援機関
一般社団法人日本経営士会

2020年度「研究論文大募集」

— 包括テーマ —

Withコロナ・Afterコロナ

— 経営士だからこそできるグレートチェンジ —

募集要項

■資　　格　：　一般社団法人日本経営士会
会員・準会員（経営士補・環境経営士）

■論文テーマ　：　①包括テーマに準拠するもの
②その他、経営士としてのコンサル活動をテーマにしたもの

■事前申請　：　応募を希望される場合は、2020年9月30日（水）までに氏名、会員番号、支部名、論文テーマを事務局Eメールoffice@nihonkeieishikai.comあてに申請して下さい。

■執筆要綱　：　日本経営士会研究論文執筆要綱による
＊本誌P12 ～ P14をご参照下さい。

■論文締切り　：　2020年10月31日（土）

■応募方法　：　ワードで作成の上、メール添付またはデータを下記へお送り下さい。
〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A.二番町ビル
一般社団法人日本経営士会　事務局
Eメール：office@nihonkeieishikai.com

■論文審査　：　厳選に審査し、11月中旬に結果をお知らせする予定です。

■論文発表　：　12月6日（日）AMCJクロッシングで行います。

■論　文　賞　：　賞状及び副賞

INDEX

会長からの提言 ・・・・・・・・・2
ブロック理事・支部長就任挨拶 ・・・・・・・・・3
日本経営士会令和2・3年度組織図 ・・・・・・・・・9
令和2・3年度委員会・事業部委員一覧表 ・・・・・・・・10
理事会通信 ・・・・・・・・11
論文募集 ・・・・・・・・12
第 53 回経営士全国研究会議京都大会報告 ・・・・・・・・15
産業能率大学・寄付講座・実施報告 ・・・・・・・・20
事業部・委員会活動
　CSR環境事業部 ・・・・・・・・21
　SDGs事業部 ・・・・・・・・22
　MPP委員会 ・・・・・・・・23
　AMCJクロッシング ・・・・・・・・24
女性経営士の会 NJK活動報告 ・・・・・・・・25
研究会活動報告
　生産研究会 ・・・・・・・・26
　一木会 ・・・・・・・・28
「会員の輪」会員紹介 ・・・・・・・・29
会員広場 ・・・・・・・・30
支部活動報告
　北関東支部 ・・・・・・・・31
　千葉支部 ・・・・・・・・33
　埼玉支部 ・・・・・・・・34
　東京支部 ・・・・・・・・35
　南関東支部 ・・・・・・・・36
　中部支部 ・・・・・・・・37
　四国支部 ・・・・・・・・38
第53期経営士養成講座案内／支部活動予定 ・・・・・・・・40
広告／インフォメーション ・・・・・・・・41

マネジメントコンサルタント（Management Consultant）
発行所：一般社団法人日本経営士会

〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A. 二番町ビル5F
Tel：03-3239-0691　Fax：03-3239-1831
https://nihonkeieishikai.com

表紙：信濃川にかかる万代橋（2021年全国研究会議開催地　新潟県）

会長からの提言
『Great Change』しましょう

会員の皆様には、日頃から本会活動への積極的なご参画、そしてご支援いただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの影響は、私ども個人、家庭、企業、地域社会そして世界のあらゆる場所に広がっています。特に、世界の中でも貧しい国、途上国と呼ばれる国々にとっては、さらに厳しいものです。私たちは、身近な人々の健康を気遣うと共に、世界の人々も同じ病気の恐怖と闘っていることを知り、同じ地球上にいるということを、今までになく感じていらっしゃるのではないかと思います。

経済の視点から見ますと、今、コロナ前の社会・経済システムでは対応できない、変わらなければいけない現実と向き合い始めています。経済界では、ますます「複雑」で「将来予測が難しい」「今までのやり方が通用しない」『VUCAな時代』“Volatility（激動・変動性）・Uncertainty（不確実性）・Complexity（複雑性）・Ambiguity（曖昧・不明確性）”であると言われています。その一方、新しい風としてAI、IoT、RPA（Robotic Process Automation）などの技術やそれらを活用したデジタルトランスフォーメーション（DX）も実社会への展開を始めています。また、新しいデジタル・テクノロジーやビジネスモデルによって、既存製品・サービスの価値を変化させ、既存の市場をディスラプション（破壊）するようなビジネスモデルを展開する新規参入者も登場してきています。

既存の各企業は、競争力維持・強化をスピーディーに進めていくことがより強く求められています。「不況を境に発展の飛躍台に。不況を境に企業体質を強化する」（稲盛和夫氏）、「かつてない困難、かつてない不況からかつてない革新が生まれる。そしてかつてない革新からはかつてない飛躍が生まれる。」（松下幸之助氏）と言われているように、このような時代だからこそ我々経営士・経営士会の役割・期待が大きいのです。

本会も来年9月には創立70年を迎えます。長い歴史を持った本会。先輩諸氏と若手とのコミュニケーションなど良いところも沢山ありますが、色々なところにひずみやマンネリ化が見られるのも事実です。

70th
since1951
Great Change
一般社団法人日本経営士会

本会も来年9月には創立70周年を迎え、人生も100年時代と言われているこの機に、本会の各機能を『Great Change』し、新しい経営士会を生み出したいと思います。

年齢も、専門領域も、活動範囲も、地域も多種・多彩・多才な、まさに本会の多様性で『Great Change』を合言葉にすべてのステークホルダーに感謝され喜ばれる経営士・経営士会にいたしましょう。

2020年8月

代表理事（会長）　鈴木 和男

役員(ブロック理事)就任挨拶

東日本ブロック理事に就任して

東日本ブロック理事　松橋 裕子

今なお、先が見えないコロナの影響で今まで当たり前だった夏の風景がなくなってしまった2020年夏、経営会員の皆様におかれましては各地において尽力を尽くされていると思うと胸が熱くなる思いです。

この難局ともいえる中、この度、東日本ブロック理事に就任しました松橋裕子でございます。私は、経営士会に入会して未だ日も浅く、このような大役を私でいいのかとの思いもありますが、担ったからには各支部が情報を共有することで円滑に会が進むことに協力する所存でございます。

本年度、新潟において開催の予定であった第54回全国研究会議は1年の延期となりました。東日本ブロックでは桒山北関東支部長をはじめとし、来たる1年後の全国研究会の開催に向け、密に連携を図り準備を進めていきたいと思います。

これからの日本経済の状況はさらに厳しくなります。生き残るためにすでにあらたな「価値創造」に取り組む企業もございますが、まだ、新しいビジネスヒントを得ようと模索、奮闘している中小企業も多くあります。これから変化しなくてはならない岐路にある中小企業を経営士としてサポートすることは、とても重要な役割だと思っています。

鈴木和男会長をはじめ新体制となり、withコロナの中で私たち経営士会が一丸となって、社会経済に貢献するこことが経営士会のさらなる発展となると期待しております。

最後に、溝渕新蔵北海道支部長、山下健二東北支部長、桒山一宏北関東支部長、何分不慣れで未熟な私にご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

そして、こういう時こそ一致団結、協力が大事な世の中になります。経営士会の皆様におかれましてはどうぞよろしくお願いいたします。

コロナ禍を超えて

中日本ブロック理事　大蔵 充夫

平素は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症で無くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された皆様の早期回復を心よりお祈り申し上げます。

人類にとって未曽有の事態が、会員の皆様方に及ぼしている影響は如何ばかりかと案じております。「明けない夜はない」と申しますが、人類の英知を結集すれば、コロナ禍は早晩必ず克服されると信じています。事態収束後を見据えて、今まで以上に経営士会・中日本ブロックの会員相互の情報交換・コミュニケーションを図っていければと願っています。

さて、2020年6月の社員総会で中日本ブロック理事の大役を拝命し、はや2ヶ月が過ぎました。最初の3ヶ月で中日本ブロックとしての新しい方向なり、方針なりを打ち出すことも考えましたが、中日本ブロックの大きな役割として、本部とブロック内各支部間の連携をより円滑に推進することがありますので私自身の本部とのパイプ役も含めて、これを引き続き進めて参りたいと考えます。

具体的には、中日本ブロック内の各支部･支援センター間のコミュニュケーションを図るため、定期的に中日本ブロック会議を開催し、各支部・各支援センター相互の情報交換を行い、各支部のイベント・セミナー等の開催情報がタイムリーに共有できるようにいたします。同時に、兼務の東京支部長の立場で、中日本ブロック内の各支部長・センター長との相互コミュニケーションを行い、各支部活動状況の相互共有を図りたいと考えます。

鈴木和男新会長の下、70周年を迎える経営士会の足元を固めて、皆様とともに更なる飛躍の礎を築くことに尽力したいと考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。

西日本ブロック理事に就任して

西日本ブロック理事　酒井 三雄

このたび、西日本ブロック理事に就任いたしました酒井三雄です。

西日本ブロック理事といたしまして、中部支部、近畿支部、中国支部、四国支部、九州支部の5支部の連携を密に取りつつ、それぞれの支部が独自の活動をされ、西日本ブロックとして大きく飛躍できるようにしていきたく思っています。

コロナウイルス拡大により各支部長が一堂に会することが困難であることからZOOMにより意見交換をすることとし、今までとは違ったブロック会議の開催を考えております。

西日本ブロックとして、今後特に力を入れていきたい事項としまして、経営士補養成講座を西日本ブロックの合同開催で行うことです。各支部長さんのご意見を取り入れたカリキュラムで、またブロック内の相互の講師による開催としたく思っています。

経営士補養成講座で受講生を養成し、多くの経営士補を誕生させ、引いては会員の仲間を増やしていきたいと考えております。

また広範囲にわたるブロック内の会員相互の交流を活発に行い、西日本の会員相互が直接連絡を取り合い、互いに活発な活動が行える機会を多く作りたいと思います。

日本経営士会の更なる発展のために、今まで以上に会員皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

支部長就任挨拶

支部長就任挨拶

北海道支部長　溝渕 新蔵

コロナ災禍に揺れる2020年、この度北海道支部長を仰せつかりました溝渕です。米寿を超えてなお意気軒高と申したいですが、ここ3年間は入院と静養の日々でしたが漸く回復の兆しが見えました。ご迷惑をかけた分、倍旧のお勤めをいたします。

私は5人の会長さんの薫陶を受けましたが、本年から新進気鋭の鈴木和男さんにバトンタッチされました。経営士よ　知略の限りを尽くしましょう。世にいう「温故知新」「Be　Alert油断せず心を研ぎすませ」、「Be Ambitious大志を持て」の精神を包摂されます。

鈴木会長さん　是非北海道にも視察・ご指導に来駕されるよう熱望します。北海道支部では月例会においてマネジメントコンサルを輪読しており、また独自のジャーナル「マネジメント・コミュニケーション」を年2回発行して同志の連携を高めるべく議論しています。

北海道支部の目標は、①関係機関との連携②経営診断学会・診断士協会との連携③経営士会は知識組織軍団ゆえ学習は使命④会員増加は生命力⑤会長、本部とのネットワークを強力に推進するなどに努めます。北海道は頑張ります。向後のご指導ご協力を切にお願い申し上げます。

東北支部長　就任のご挨拶

東北支部長　山下 健二

前期に引き続き2期目を向かえた、東北支部長の山下健二と申します。7月末現在の支部の在籍者数は、経営士69名、経営士補15名、環境経営士6名となっており、これまで4回実施した「経営士養成講座」、5回実施した「経営士補養成講座」、3回実施した「環境経営士養成講座」などが奏効し、入会者数は逓増傾向にあることは嬉しい限りです。佐藤前支部長、その前の石川先代支部長が敷いてくれた“積極的に活動する東北支部”というレールを、意識の高い会員各位の力強い活躍のお蔭でなんとか失速することなく走れている状況です。感謝の言葉もありません。

しかしながら今年春からは、新型コロナウイルスの影響を受け、いくつもの計画していたイベントの中止を余儀なくされ、何も活動が出来ていない状況となっています。“ピンチはチャンス！”いつまでも手をこまねいているわけにはいきません。本部や他支部の経営士の諸先輩方、支部会員のお知恵をいただきながら、“これまで以上に価値ある経営士会”を実現にするべく、微力ながら努力していきたいと思っております。皆さま何卒よろしくお願い申し上げます。

全国研の成功に向けて

北関東支部長　桒山 一宏

2年間、全国研の主管支部長として準備をしてきました。開催まで引き続き支部長を務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。北関東支部(茨城、栃木、群馬、長野、新潟)は唯一県会組織が残っております。支部の事業は、事業報告会と支部主催MPPの2つだけで、各県会の事業活動等がベースです。県会のサポートが支部の役割と考えており、これまで同様各県会のサポート、活性化に力を注ぎたいと思っております。コロナ禍の影響で、全国研は1年延期となりましたが、十分な準備を進めています。全国研のあり方が議論されているところですが、テーマに沿った講演、新潟を満喫していただく懇親会、分科会、エキスカーションも企画しております。アクセスも良い会場です。来年は、たくさんの会員の皆様にご参加いただきたいと思っております。コロナの終息を祈りつつ、皆様のお越しを心よりお待ち申し上げます。

支部活動のさらなる活発化を

千葉支部長　山田 一

千葉支部として2期目を務めさせて頂くこととなりました。昨年までは、会員数の減った支部をどう盛り上げて活性化させていったら良いのか、悩みに悩んだ2年間であったかと思います。今年度、再度支部長を続投させて頂くことになりましたが、支部の勉強会を“中小企業3Cの会”という名称で進めてきた積み重ねがようやく動き始めてきたように見えます。支部会員だけでなく、外部の方たちも自由に参加できるようにしてサロン風な雰囲気を醸し出す環境下で参加された方たちが自由に話をされ、その中からビジネスチャンスに繋げられたらと思っています。世の中大きく変動しており、変化を読み取りチャンスを自ら作り出し、果敢に挑戦していこうというのが私たちの3Cの会の趣旨であり、この会を中核に支部活動を活発化させ、あゝ面白そうだなぁ、私も参加してみようかなぁ、という気持ちが起きるような支部活動となったらと強く思っております。以上

埼玉支部を「励起」できるファシリテータを目指します

埼玉支部長　柴田 郁夫

今年度から新しく埼玉支部長となりました柴田郁夫です。どうぞよろしくお願いいたします。私は、1987年から現在まで33年間、株式会社の代表をしております。経営士となったのは10数年以上前ですが、当時は大学の助教授も兼務しておりました。その後NPO法人の理事長や一般社団法人の代表理事など、会社の代表取締役とは別の顔でもビジネスをしてきました。主に携わってきた分野は「教育」で、現在も職業訓練校の運営や「キャリアコンサルタント養成講習」などを主催しております。教育で重要な事は、いかに個を励起できるか、だと思っています。経営士会の支部長として教育を行うわけではありませんが、個々の会員の方が活性化して成長して頂ける機会をできるだけ提供していきたいと思っております。例会を始めとした様々なイベントを開催し、参加者も増やして、支部全体を「励起」していきます。

東京支部の特徴

東京支部長　大蔵 充夫

2020年4月から、鈴木和男前支部長（現会長）の後を受けて東京支部長の職に就きました。

東京支部は150名からの会員が所属する大きな支部です。特徴として、10年20年所属の大先輩から、企業内経営士として活躍される現役バリバリの若手経営士まで、まさに老若男女が集う大所帯です。現在でも続く、生産研究会、TAMA研、一木会などの自律的な活動の中心的役割を担う経営士の皆様に加えて、現在支部幹事が事務局となって、経営士同士が集い、相互向上を目指す5つの研究会を立ち上げつつあります。

東京支部の開催イベントには、中小企業白書セミナー、トレンディセミナーなどがあり、また中日本ブロックと共同で、MPP、経営士養成講座のように中日本ブロック内各支部で主管を持ち回りで行うイベントもあります。定期不定期のイベントに係らず、支部会員の皆様に様々な参加の場を用意することで支部活動を盛り上げて参りたいと考えています。東京支部役員一同、支部会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

SDGs × 変革・行動 = AMCJ未来

南関東支部長　本田 哲行

2020年初頭より新型コロナウイルスの感染拡大に伴い世界規模で経済に深刻な影響を受け、国内でも売上げが減少するなど採算・資金繰りに苦難する中小企業が相次いでいる状況であります。このような厳しい社会情勢のなか、この度、理事会の承認を経て、前支部長 戸部廣康氏のあとを引継ぎ、伝統ある南関東支部 支部長に就任することになり、大変身の引き締まる思いであります。また、2020年は、パリ協定が本格スタート年であり、2030年のSDGs達成に向けて「アクション×イノベーションの10年」が始動となりました。AMCJ日本経営士会として、個、地域（支部）およびAMCJ本部とそれぞれが尊重され互いに協同しあいクリーンであり、全ての会員は幸福でなければならない。そのためにもグローバル共通言語であるSDGsをキーワードとして推し進めるべきだと考えております。本会にとっても行動×変革をする絶好のタイミングであり、少しでも、よりよい方向へ舵をとるべきだと、決意したところでございます。つきましてはAMCJ本部・支部の発展に、はなはだ微力ではございますが、誠心誠意努力いたす所存でございます。何卒より一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

3年目の決意

中部支部長　梅本 泰則

中部支部支部長を拝命しました梅本泰則です。支部長職も2期目になりました。過去2年間は大した成果もあげられず、今期こそはと決意を新たにしているところです。

さて、中部支部ではこれまで研究会の開催を積極的に行い、会員の能力向上や親睦に努めてきました。それはそれで大切なことですが、会員の増加、知名度の向上、収益力の強化にはつながっていないのが現状です。そこで、そのためにオープンセミナーの開催、経営士補養成講座・環境経営士養成講座の開催、中部支部HPコンテンツの充実、メルマガでの積極的な情報発信を行い、3つの課題に挑戦していきます。また、支部の事業として行っている「エコステージ事業」での収益増加を図ることも重要な課題です。いずれにしても、コロナ禍で社会の変化が進む中、時流をとらえた活動が必要だと考えています。

新体制となった本部との連携も重要で、より良い経営士会を目指して尽力するつもりです。

近畿支部長に就任して

近畿支部長　酒井 三雄

このたび、近畿支部長に就任いたしました酒井三雄です。

近畿支部長としては、急速に減少する会員数を止めるために、「人・モノ・カネ」に関する研究会をシリーズで行いたいと考えています。

この時の研究会の講義はきるだけ多くの支部会員（特に若い人）に講師を担っていただくよう考えております。

一般の前でやる講演の技量・力量を上げるための講師の練習台として、支部の研究会をより活用することを推奨していきたいのです。

目まぐるしい激動の現在、経営士に課せられた使命や期待はさらに大きく、産業界に貢献できる行動的な支部でありたいと願っております。

また、施設見学なども実施して、支部会員の親睦と交流を図る取り組みも積極的に展開したいと考えております。

活動基盤の再構築へ向けて

中国支部長　金廣 利三

多くの方から推挙を賜り、再選の運びとなりました金廣です。中国支部の取組みは、若手へのバトンタッチを想定し、会員増加と支部活性化へ向けた仕掛け創りです。経営コンサルの“あるべき姿“を目指し、基本に立ち返って足元を固める作業です。そこには、競争優位の独自性で差別化を図り、活動基盤を再構築し、暗中模索で喘ぐ事業者へ光明を齎す責務があるからです。

また、会員の善意に基づく組織では、英知を集めて邁進すべきで、パワーゲームと想像力の欠落した戯言は不要と考えます。

有志の皆様に支えられながら、以下の計画の進展具合に一喜一憂の日々です。

1. 基礎6領域のカリキュラムと講義資料の作成
2. 各県で上記資料を用いた地域勉強会の開催
   ⇒各県で経営士（補）養成講座の講師育成
3. 経営診断に用いるPSシート（解決策々定の定式的新手法）の研修
   ⇒リードインストラクター（仮）の養成
   ⇒支援機関とのコラボで講演会開催（民々契約の機会創出）

四国支部支部長就任挨拶

四国支部長　岩井 美喜夫

この度、四国支部支部長に就任した岩井美喜夫と申します。経営士会会員歴は平成17年12月入会ですので数多のベテランの先生方の中ではまだまだ若輩者ですがご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

折しも武漢発の新型肺炎、いわゆるコロナ禍において終息のめどが立たない中、共存しつつ新しいビジネスモデルを模索するために四国支部としても各方面で活動しております。Zoom会議などにおいては今回のコロナ禍に先立つこと約1年前より支部例会などで取り組んでおり、今回のことを予測したわけではありませんがスムーズに移行することができました。このように新しいことにも果敢に挑戦して新しい形の経営士会構築の一翼を担うべく支部を挙げて邁進していく所存であります。今後とも四国支部を宜しくお願い申し上げます。

九州支部長就任のご挨拶

九州支部長　西尾 廣幸

新型コロナウイルスの感染流行により、日本経済はリーマンショック以上のダメージを受けております。また、経営環境もIT化の進展などにより急激に変化し複雑化しています。このような状況において、経営士会はコンサルタントとしての社会的使命を果たさなければなりません。

九州支部の運営方針としては、経営士会が70年間にわたって蓄積してきた知識やノウハウを生かして中小企業の発展のために尽くしていくことが期待されています。

今後の取組としては、

①MPPについては、内部的にはリーダー研修を実施し外部展開ができる状況になりつつあります。

②環境経営士については、養成講座を継続的に開催します。また、SDGs委員会や研修会に参加し、知識の習得に努め取組体制を整えつつあります。

③会員増強については、推薦入会の促進・認定資格試験による入会に取組んでいます。今後は新しく入会された方々のフォローを行います。

支部会員の皆様方のご協力を得て、内部体制の充実と日本経営士会の知名度の向上をはかり、存続発展のための活動を行い、信頼される経営士会にしてまいります。

台湾特別支部長新任のご挨拶

台湾支部長　蔡 有義

今年は格別に厄介な年ですが、経営士会の皆様にはご機嫌いかがですか。

この度台湾特別支部支部長を引き受けることになりました蔡　有義（サイユウギ）です。経営士会に入会したきっかけは、故人になりました上野延城先生と劉成基大先生の紹介で、経営士会の宝であるMPPを認識し、又企業経営にとって大変役に立つ事に気づき敢えて各大先輩の側から勉強し始めました。

この6年間以来、一言といえば“商人の子はそろばんの音で目をさます”のことわざは、更に深く感銘するところであります。

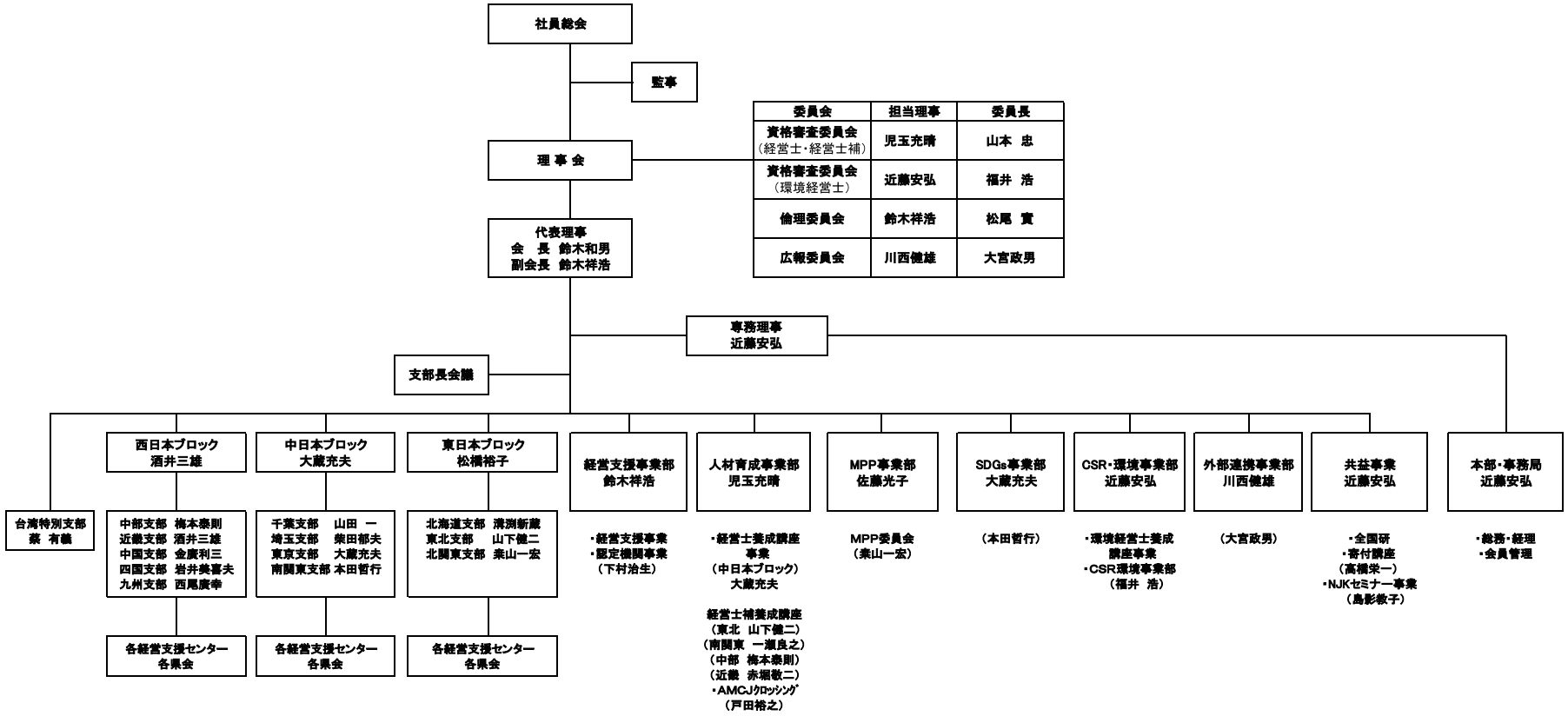
台湾特別支部は、20名（台北9名と台中11名）の会員数ですが、前青木会長から台湾特別支部にも女性の経営士をもっと増やして欲しいとのご指示で、早速に1名入会する予定です。

MPPといえば、各視野の観察と思考をしなければなりません。台湾特別支部にも、これから女性経営士の新入会員を徐々に増えて来ると大膽予言できるはずです。

今年の前半はコロナウイルスの影響により、台北と台中分会のMPPは完全にストップしましたが、有志者一同で6月（台中）と7月（台北）に再開しました。また11月21 ～ 22日には、台中でMPPリーダー養成と更新研修の研修会を行う予定です。

それでは、経営士会の会員の皆様、コロナウイルスに負けないで、来年の新潟全国大会でお会いしましょう。

一般社団法人　日本経営士会　令和2・3年度　組織図



委員会の名簿一覧

令和2・3年度委員会・事業部委員一覧表

	委員会・事業部名	担当理事	委員長	委　　員
	資格審査委員会 （経営士）	児玉充晴	山本　忠	西　満幸、津田　嵩、春原和夫、定野　淳、渡邉敏徳、（顧問：平山道雄）
	資格審査委員会 （環境経営士）	近藤安弘	福井　浩	菊次洋光（副委員長）、石黒不二夫、二宮治巳、林　久雄、本田哲行、増田昌彦、宮髙信之
	倫理委員会	鈴木祥浩	松尾　實	有馬弘純、篠澤勇作、白川高彦、春原和夫、矢島隆志
	広報委員会	川西健雄	大宮政男	土橋留美子、渡邊一恵、吉村千鶴子、定野　淳
	経営支援事業部	鈴木祥浩	下村治生	高橋栄一、赤堀敬二、上地裕之、中里晧一、安島常貴、小池基美男、横田英滋
MPP事業部	MPP 委員会	佐藤光子	栗山一宏	日野隆生、三品富義、岩井美喜夫、福田幸雄、（顧問：平山道雄、塚本裕宥）
共益事業	NJK 女性経営士の会	近藤安弘	会長 島影教子	土橋留美子（副会長）、松永桂子、臼倉恵美子、松橋裕子、吉村千鶴子、児玉充晴
	産能大寄付講座	近藤安弘	高橋栄一	佐藤富夫、北原雅人
人材育成事業部	AMCJ クロッシング	児玉充晴	戸田裕之	中里晧一、江藤昭人、樋口弘之、渡邊一恵、堺　剛、石原群司
	経営士養成講座 （中日本）	児玉充晴	大蔵充夫	柴田郁夫、本田哲行、山田　一、大宮政男
	経営士補養成講座 （東北）		山下健二	
	（南関東・山梨）		一瀬良之	
	（中部）		梅本泰則	
	（近畿）		赤堀敬二	下村治生
	CSR 環境事業部	近藤安弘	福井　浩	菊次洋光（副委員長）、石黒不二夫、二宮治巳、林　久雄、本田哲行、増田昌彦、宮髙信之
	外部連携事業部	川西健雄	大宮政男	佐藤富夫（副委員長）、石井眞也、稲葉直彦、杉田　博、江藤昭人、渡部正司
	SDGs 事業部	大蔵充夫	本田哲行	福井　浩（副委員長）、島影教子、戸田裕之、伊藤雅和、小池基美男、横田英滋、増田昌彦、鈴木栄治、小西洋三、佐藤秀樹、栗山一宏、二宮治巳 （他、地域支部情報共有Zoom参加者：17名）

理事会通信

＜令和2年度第2回定例理事会議事録＞

記

日　時：令和2年7月17日（金）　13：30～17：14

会　場：本部会議室（新型コロナウイルスの為ZOOMでの参加者あり）

(1)審議事項

第一号議案：総会の総括

近藤専務理事が資料①に沿って説明し、総会資料の一部を変更する指摘があり、定時総会第二号議案の一部訂正を求めた。審議の結果、全会一致を以て総会資料を訂正し、正会員に郵送するが承認された。尚、今後はこの様なことの無いよう定時総会の前に慎重に精査することが求められた。

第二号議案：全国研京都大会の修正について

近藤専務理事が資料②に沿って、京都大会での予算と実績の差が問題になっていたが、改めて精査したところ、過去の全国研究会と大きな乖離はなく、正当に運営された旨の説明があり、審議の結果、全会一致を以て承認された。また、監事もこれに同意した。

第三号議案：委員会委員選定について

近藤専務理事が資料③に沿って、名称変更委員会に「AMCJクロッシング」、「SDGs事業部」を新しく設けたい旨の説明があり、全会一致を以て承認された。また、各委員会委員長、委員も全会一致を以て承認された。ただ、地方会員の委員が少ない旨の意見が出された。

第四号議案：経営士会の検討課題について

鈴木会長より資料④に沿って、各事業の検討課題の指摘があり、「70th　グレートチェンジ」を標榜に経営士会の生まれ変わりの為の取り組み計画を8月17日までに提出することが全会一致を以て承認された。

第五号議案：産業能率大学寄付講座ガイドラインについて

近藤専務理事より資料⑤に沿って説明があり、全会一致をもって承認された。

尚、今年の寄付講座の受講生は60名になった旨の報告があった。

第六号議案：HPの運営業者について

事務局よりHPの運営業者が未定のままなので、早急に業者の確定をお願いしたい旨の発言があり、全会一致を以て承認された。

第七号議案：再入会者の承認について

事務局より資料⑦に沿って説明があり、全会一致を以て2名の再入会が承認された。

第八号議案：稟議書規程、役員旅費規程の改定について

近藤専務理事より資料⑧に沿って変更箇所の説明があり、全会一致を以て承認された。

第九号議案：准経営士補について

鈴木会長より資料⑨に沿って説明があり、今後、産業能率大学との連携を深め、実績を作るため、具体案を推進することが全会一致で承認された。

以　上

2020年度　論文募集について

◆趣旨

本年度はコロナ禍の影響で、経営士全国研究会議新潟大会は来年度に延期になりましたが論文募集は例年通り実施することになりました。経営士(準経営士を含む)の研鑽とスキルアップは継続的な課題であり、コロナ禍の中においても、全国各地で前向きに活躍されている会員がおられます。むしろこのような状況の中でこそ真価を発揮していただきたく積極的な論文の応募をお願いします。

◆論文包括テーマ

「Withコロナ・Afterコロナ」

ー経営士だからこそできるグレートチェンジー

その他、例年通り、一般テーマも同時募集しますので応募は可能です。

◆応募対象者

日本経営士会　正会員・準会員(経営士補・環境経営士)

◆日程

・マネジメント誌　9月・10月号に論文募集要綱掲載
・9月末　応募テーマ　エントリー締め切り
・10月末　論文締切
・11月中旬　論文審査
・12月6日(日)　AMCJクロッシング
交流会にて優秀論文発表・表彰
リアル会場　本部会議室
ZOOM併用

(専務理事　近藤安弘)

日本経営士会　研究論文執筆要綱

この論文執筆要綱は、日本経営士会が一般社団法人としてオープンな組織を目指し、経営士の研究論文の社会的価値を高めることを目的に定めるものである。

＜形　式＞

◇原稿はパソコンで作成する。
◇文字字体は、MS明朝体で作成する。
◇原稿のサイズは、A4用紙縦置き横書きとし、余白は上下3.5センチ、左右3センチとする。
◇文字の大きさは、見出しについては12ポイント、論文要旨8ポイント、本文10.5ポイントとする。謝辞・あとがきは10.5ポイント、参考文献等8ポイントとする。
◇文章は常用漢字と現代仮名使いとし、アルファベットは活字体とする。
◇数字は半角数字を原則とする。ただし、見出し等については全角数字を許容する。
◇原稿枚数は、A4用紙8枚以上、10枚以内とし、ページ番号を記載する。

＜論文の構成＞

◇表　題
◇要　旨
◇本　文　(緒言、研究・調査方法、結果･考察、結論)
◇謝　辞／あとがき
◇補注、図表、参考文献

＜表　題＞

◇表題（タイトル）は下記のように記載すること。

論文タイトル　：○○○○○○○○○○○
（副題がある場合にはカッコ書きで記載）
著者名　：○○ ○○
会員番号　：（○○○○）
所属支部・県会：○○○支部・○○県会

＜要　旨＞

◇要旨は、表題に続いて記述する。

◇要旨は、論文のおおよその内容を要約し、300字～500字以内で記述する。

＜本　文＞

◇本文は、要旨から2行をあけて記述する。

◇本文は、「緒言」「研究・調査方法」「結果・考察」「結論」の順に記述する。

◇「緒言」とは、本論文の意義や目的などを記述するもの。

◇「研究・調査方法」とは、研究・解析・調査など、実際に取組んだ手段・方法等について記述するもの。

◇「結果・考察」とは、研究・調査の結果、成果の考察、既知見との関係などについて記述するもの。

◇「結論」とは、研究・調査によって得られた結論に対する総合的な記述。

◇「謝辞／あとがき」は、本文に続いて、調査・研究・執筆における協力者へ感謝の意を述べる。（通常、研究などは協力者があって実現することが多いことから、社会通念上の礼儀として必ず謝辞を述べる）

＜補注、図表、参考文献＞

◇「補注」を必要とする場合は、本文該当箇所に番号等で明示し、参考文献の前に、一括して番号をつけて掲載する。

◇「図表」は、直接原稿に貼り付け、本文と図表を関連づける「図番号・表番号」をつけて記載する。

◇「参考文献」は、本文や補注で言及したもの、及び図表で引用した全てのものを、引用順に番号をつけて文末にまとめて記載する。（自著も含む）

記載の方法は、「著書タイトル」、「著者名（フルネームで）」、「出版社名」、「発行年（西暦で）」の順に記載する。

例：『地球環境論』平成太郎　日本環境出版社（2007年）

『JIS環境マネジメント2007』　日本規格協会（2007年）

なお具体的に引用をした場合には、上記の他に引用をしたページを記載する。

また同時に引用した箇所には、肩括弧で参考文献の連続番号を付記する。

◇インターネットからの引用は、「ホームページ名」、「URL」、「アクセス日」を明記する。

<論文の制限および著作権>

◇他の団体等に投稿した論文(明らかに同文と思われる部分掲載を含む)は受理しない。後日発覚した場合は評価の取り消しを行なう。

＊「団体等」とは規模の大小を問わず、財団法人、社団法人は勿論の事、学会、組合、市民団体を含めた広義の全ての集合体を指す。

◇当会に投稿した論文は、未発表のものに限る。正式な発表までは、公表を禁止する。

◇研究論文の著作権は本人に帰属する。

◇研究論文の著作権の使用(複製権・翻訳権・出版権)については、一般社団法人日本経営士会に帰属する。ただし、本人が自らの用途に使用することについては制限しない。

(イメージ)

論文名　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

(―＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊―)

著作者　　経営士　○○ ○○
(会員番号１２３４)
○○支部　○○県会

(論文要旨)　8ポイント　(300字～500字)

・・
・・
・・
・・
・・

(論文本文)　10.5ポイント

・・
・・
・・
・・
・・

(謝辞／あとがき)　10.5ポイント

・・
・・

今回の研究論文の執筆に際しましては、○○○○の○○様、○○○○の○○様に多大なご尽力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

『参考文献』　8ポイント

1)『地球環境論』平成太郎著　日本環境出版社(2007年)
2)・・・・・・・・・・・・・・・
3)・・・・・・・・・・・・・・・

第53回経営士全国研究会議京都大会を振り返って

「光陰矢の如し・・・」

早いもので、昨年全国研究会議京都大会を開催してから約1年が経過しました。

第53回全国研究会議は、千年の都にして今も活き活きと「伝統と共創」を紡ぎ出している京都の地において「第四次産業革命とイノベーション」－未来社会の構築に向けて－をメインテーマに開催しました。

地球環境はグローバルな開発の進展とともに大きく変化しており、これに対処すべく国連において先年「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。SDGsの実現に向けた取り組みとして、環境省環境政策統括官の中井徳太郎先生(現、環境省次官)から「ビジネス革命と地球循環共生圏」について特別講演をいただきました。

次いで日本航空株式会社副社長の藤田直志先生から企業の持続的な発展に直結する従業員の健康ケアをめぐって同社の取り組みの「健康経営」について基調講演をいただきました。いずれも経営士にとって不可欠な課題であり、時宜を踏まえた貴重な講演をいただきましたことに感謝申し上げます。また懇親会ではご来賓の方々をはじめ会員、関係者の皆様と横の交流がなされ和やかな雰囲気で盛り上がりました。ここに改めまして全国研究会議京都大会の開催にあたりましてご協力をいただきました皆様にこの場をお借りして、重ねて御礼申し上げます。

第53回経営士全国研究会議京都大会

実行委員会	実行委員長	中筋 敏雄	大会顧問・渉外委員長　浅見 正義
	副実行委員長	瀬尾 寿一	
	副実行委員長	河上　晃	実行委員会　顧問
	副実行委員長	橋本 俊幸	荒田 英路・鈴木 祥浩・酒井 三雄

第53回経営士全国研究会議京都大会を振り返って

全国研究会議京都大会の開催から約1年が経過しましたので、振り返ってみたいと思います。京都での開催は27年ぶりとなりました。包括テーマは「伝統と共創」で伝統を重んじつつも、未来に向けて新たな発想と創造を図るということで、開催地京都での相応しい研究・討議の場となりました。

講演をいただきました環境省総合環境政策官の中井徳太郎先生(現、環境省次官)と、日本航空株式会社副社長の藤田直志先生には貴重なお話しをいただき、感謝申し上げます。

会員表彰では多数回出席者、MPP高単位取得者、優秀会員の授与があり、それぞれ成果を讃えました。論文発表では、日常研究を重ねた会員が、包括テーマに沿ったユニークな発表となりました。ビジネス・イノベーション・アワードは日本の中小企業を元気にすることを目的に経営革新や社会貢献をされた企業・団体を表彰する制度で、経営士が支援しました13社が受賞されました。

日本経営士会は来年度70周年を迎えます。全国研究会議は良き伝統を継承していくとともに、改善すべき点は改善し、ガイドラインを編成し次回、新潟大会へ橋渡ししてゆきます。ぜひ今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

専務理事(全国研担当)　近藤 安弘

9月14日（土）

【第一部】開会式

西野　　総 様
（近畿経済産業局長　**米村　　猛**様　代理）

鈴木　一弥 様
（京都府知事　**西脇　隆俊**様　代理）

京都市長　**門川　大作** 様

京都府議会副議長　**二之湯真士** 様
（京都府議会議長　**田中　英夫**様　代理）

京都市議会議長　**山本　恵一** 様

第75代京都府議会議長　**林田　　洋** 様

（一社）2025年日本国際博覧会協会 副事務総長
（前近畿経済産業局長）
森　　清 様

元・防衛省事務次官　**西　　正典** 様

講師　**中井徳太郎** 様
環境省総合環境政策統括官

講師　**藤田　直志** 様
日本航空株式会社（JAL）
代表取締役副社長・執行役員

前・内閣官房内閣審議官　**間宮　淑夫**様
乾杯の音頭を発声

京都市長　**門川　大作**　様

オープニング・セレモニー

アトラクション

NJK女性経営士の会
会長　**島影　教子**様（右）　副会長　**土橋留美子**様

河上　晃
実行副委員長・総務委員長

中筋　敏雄
実行委員長

9月15日（日）

淺見　正義
大会顧問・渉外委員長

近藤　安弘
専務理事
（全国研担当）

セミナー風景　経営士の先生方

（一社）日本経営士会
第53回全国研実行委員会一同

近畿支部役員一同

瀬尾　寿一
実行副委員長・広報委員長

産業能率大学・寄付講座・実施報告

令和2年8月15日（土）～16日（日）　産業能率大学　自由が丘キャンパス7号館にて寄付講座を実施しました。昨年、産業能率大学と日本経営士会の提携により、一定の履修科目の単位を取得し大学（通信学部）を卒業された方を経営士補に、短期大学（通信学部）で環境関係の履修科目を取得し、卒業された方を環境経営士に認定する制度ができ、関心度が高まってきています。

本年はコロナ禍の影響で全科目ともZOOMで対応しました。受講参加者は産業能率大学47名、自由が丘産能短期大学13名の参加となり、合計60名に参加いただき過去最高の参加人数になりました。教室は講師・運営関係者だけでしたが、ZOOMを通し全国からの受講参加者が2日間に渡り熱心に受講されている熱意が感じられました。ZOOMではチャットにより、各科目に関する詳細質問、企業経営者の講義に関する詳細質問、入会手続きに関する質問、経営士養成講座の開催に関する質問等、多数の質問をいただき対応しました。

本年はZOOMによる授業でしたので残念ながら懇親会は開催できませんでしたが、今後の研修会や交流会等に参加可能な機会を設け相互の交流を図りたいと考えます。

日本経営士会への関心も高まり、卒業後、多数の方々の入会が期待できます。寄付講座の企画・運営にあたりご協力いただきました産業能率大学の職員の皆様・講師の皆様・事務方の皆様・サイドから支援いただきました皆様方に感謝いたします。ありがとうございました。

（専務理事　近藤 安弘）

大蔵講師

関口講師

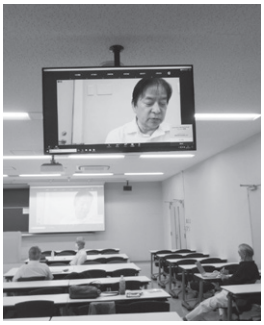
島影講師

西村講師

坂本講師

大宮講師

鈴木社長


教室の様子

事業部・委員会活動

CSR・環境事業部活動報告

CSR環境事業部

CSR環境事業部　福井　浩

CSR環境ニュース発信は5年目に

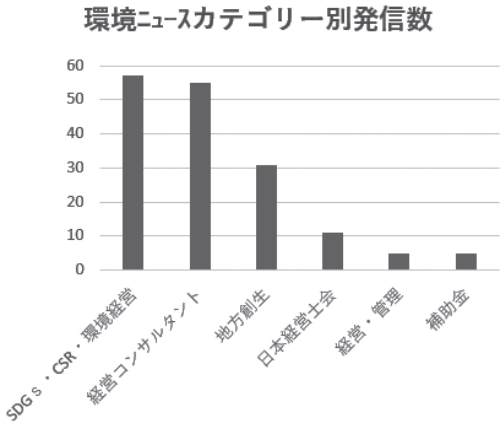
今年の10月からCSR環境ニュースのメルマガ発信は5年目に入ります。今から4年前の9月に環境経営士から力量向上のため種々の情報が欲しいという声が上がりました。

CSR環境事務局では毎月原則、10日間隔で月3回環境経営士に役立つニュースを発信することにしました。今年の9月で約170回(号外含む)の発信になりました。

CSR環境ニュースのカテゴリーは

この170回はどのようなニュースだったかを分類すると右のグラフになります。

多い順には「SDGs・CSR・環境経営」がトップで次に「経営コンサルタントに役立つ情報」「地方創生」「経営・管理」「補助金の書き方」の順番となりました。



これらのカテゴリー以外の記事で最近は

■「新型コロナウイルス発生の裏にある“自然からの警告”」

■経済産業省における新型コロナウイルス感染症関連の支援策について

■小泉環境大臣会見(令和2年7月14日)動画で発信

小泉環境大臣の会見動画は昨年スペインで行われたCOP25(気候変動枠組条約締約国会議)で日本の小泉環境大臣と梶山経済産業大臣が不名誉な化石賞を受賞しました。なぜなら小泉環境大臣、梶山経産大臣は日本が脱石炭火力発電などで消極的だと世界から非難を受けたからです。その後日本に帰り梶山経済産業大臣とともに旧式の石炭火力発電を2030年まで全廃することになりました。このことは日本のエネルギー政策では画期的なことです。

CSR環境ニュースの原稿を募集

カテゴリーはお任せですが、あなたの地元での「町おこしの事例」などがあれば歓迎です。

原稿はA4縦で1枚程度、またはシリーズものでもOKです。

執筆者のお名前も書かせていただきたくお願いいたします。

いただいた原稿はこのCSR環境ニュースでも発信しますが、CSR環境事業部関係でも発信させていただく場合もありますからご了承ください。

事業部・委員会活動

SDGs委員会報告

SDGs委員会

SDGs副委員長　福井　浩

日本経営士会のSDGs委員会活動の報告をいたします。

■SDGs委員会活動報告

SDGsの活動は昨年7月内閣府・地方創生推進室が進めています「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の会員になり活動を開始しました。その後、内閣府直轄の分科会に2テーマ採択されました。

◆1つ目のテーマ：

「中小企業・サプライチェンにSDGs・CSR・環境経営の普及により地方創生を」です。

◆2つ目のテーマ：

「SDGsをベースにした非財務的要素による中小企業与信評価指標の開発」です。

これら分科会は、日本全国の約2,000会員と当会のテーマとマッチングするためです。
当会とのマッチング希望会員は、現在数団体の名乗りを上げて頂いています。

■地方創生SDGs官民連携プラットフォームの動き

◆内閣府の「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の総会は9月2日に開催されました。
（※この会報誌が、発刊される時期と重なっていますので過去形としました）
昨年の総会と関連イベントはリアル（品川のホテルにて）で開催されましたが、今年はオンラインでの開催となりました。

概要は以下の通りでした。
◇令和2年9月2日（水）10：00～17：00
・10：00～11：00 総会 プラットフォームの活動実績及び活動方針等の報告
・11：00～17：00 関連イベント（基調講演・パネルディスカッション・マッチングイベント等）
◇参加費：無料（プラットフォーム会員の全ての皆さまにご参加いただけました）
◇当日の参加方法：
　オンライン会議システム（Webex）による参加

◆PR3分動画の募集について
この動画は総会の休憩時間とその後本プラットフォームのホームページにて掲載されました。
当会のSDGs委員会はマッチングイベント、3分間動画応募に積極的に参加しました。

■経営士、経営士補、環境経営士の皆様にお願い

毎月1回は、SDGs委員会をZoomにて開催をしています。日本経営士会のSDGsについて知りたい場合など、お気軽に参加いただけますので、下記メールまでご連絡をお願いいたします。
◇メールアドレス：amcj-mkb@producer.interq.or.jp

事業部・委員会活動

委員会活動報告

MPP委員会

令和2年度・3年度MPP委員会メンバー

担当理事　佐藤 光子（東北支部）
委 員 長　栗山 一宏（北関東支部）
委　　員　日野 隆生（東京支部）　三品 富義（中部支部）　福田 幸雄（中国支部）
　　岩井 美喜夫（四国支部）

前期に引き続き MPP 委員長を拝命いたしました北関東支部新潟県会の栗山です。よろしくお願い致します。委員会メンバーの選任にあたり、「意思疎通が取り易く、フットワークの良い人数と全国から」との考えを基に、MPP 実施メンバー程度の 6 名（担当理事含む）、2 支部に 1 名の割合で、これまで参加のなかった支部からの選出を行いました。

前期は、滞っていた諸問題に手を付け、ケース、マニュアル、単位などずさんになっていた部分の正常化を進めてきました。ようやく目途が立ちましたので、今期は MPP の活性化、外部活用に重点を置いて活動して参ります。

MPP 委員長　栗山 一宏

MPPリーダー更新研修について

コロナ禍の影響で、MPPリーダー更新研修が実施できない状況にあります。

そこで、特例として、更新期間の1年程度の延長を決定しました。通常、更新しないとMPPリーダーはできませんが、暫定処置で可能といたしました。

現在、台湾支部、山梨県会の延期に対して適用しています。これから随時対象となる支部、リーダーの皆様にはご連絡をして参ります。

第1回MPP委員会　8月8日　10:00～12:00（Zoom開催）

鈴木会長からの課題の検討、意見交換、今後のスケジュール等

今後の予定

9月 9日　第2回MPP委員会（Zoom開催）
9月27日　委員会メンバーによるZoom活用MPP（テスト開催）

※各支部のMPP開催等の情報がありましたら事務局　田中さんにご連絡ください。
　よろしくお願いいたします。

事業部・委員会活動

「AMCJクロッシング」をはじめます

AMCJクロッシング

※AMCJ：日本経営士会の英略になります　※クロッシング：交流という意味になります

9月になってもまだ残暑が続いております、会員の皆さまにおかれましてはどのようにお過ごしでしょうか？今年度から、人材育成事業部の委員会の一つとして「AMCJクロッシング」が設立され委員長を拝命致しました東京支部の戸田と申します。

本クロッシングは、まずは会員の皆様がつながる【場の提供】を目的としております。単なるイベントやお祭りごとではなく、人と人がつながる、「人脈作り」「交流」「情報交換」などを企画していきたいと思っています。

若手に限らず精神的若手の諸先輩の皆さまも是非ともご参加いただきたくご案内いたします。

AMCJクロッシング委員長　戸田 裕之

10月25日（日）、14：00（予定）～

AMCJクロッシング説明会

・あいさつ（会長、担当理事）　・本会の説明・申し込み説明　・参加者、全員による自己紹介

※ZOOMのみの開催になります。

※詳細決まり次第、ご連絡致します。

12月6日（日）、15：30（予定）～

第1回　AMCJクロッシング＆論文発表会

★本年も、経営士の日頃の活動・研究成果発表の主要な手段の一つである論文の募集をいたします。（別途、募集要項をご覧ください。）従前から、その論文の発表の場であった経営士全国研究会議（全国研）がコロナ禍のため1年延期されました。そこで、今年度は、優秀論文発表の場を、当AMCJクロッシングでとのお話をいただきました。

※ZOOMにて全国配信、また本部参加者は先着20名を予定しております。

※詳細決まり次第、ご連絡致します。

お申し込み先：office@nihonkeieishikai.com
メール件名：AMCJクロッシング　戸田宛て
メール本文：①お名前、②会員番号、③支部名、④参加の月名（10月、12月、両方）

鈴木 和男 会長メッセージ

経営士会の皆さまにとって何が必要不可欠なのか考えました。それは①先輩諸氏と若手、同年代同士などの人脈の形成。②その人脈から自分に無いモノ（知識・技術・人脈など）を得られること。③また自分の持ちモノを展開できる機会をつかめること。ますます複雑化・不鮮明化・不確実化が進む時代です。まさに最大の財産は人脈であるかと思います。多くに会員の皆さまにご参加いただき大きな新しい・温かい・楽しい風を吹かせていただきたいと存じます。

児玉 充晴 担当理事メッセージ

コロナ禍で将来が見通せず、後戻りのできない経営を強いられる昨今、企業が生き残るイノベーションのためには、新たな知の探索が以前にも増して必要となっています。社員の日々の活動で得ることが困難な“新たな知”を、企業にもたらすことが、当会の大きな社会的存在価値になろうとしています。「弱く広範なつながりによる知の探索こそが革新をもたらす」というSWT（Strength of weak ties）理論を実践する、このAMCJクロッシングの活動が、当会の柱の一つに成長することを期待しております。

NJKからのお知らせ

コロナ感染拡大に十分な配慮をしながら、7月7日、午後1時半～午後4時半まで本部会議室でリアルとZoom参加者合計25名で「SDGsとは？＋afterコロナはどんな時代？」を開催しました。講師は、新会長の鈴木和男氏です。

ご存知のように日本経営士会は内閣府の地方創生SDGs官民連携プラットホームの会員でもあります。この機会に女性会としても「ジェンダー平等」のあり方なども含め知識を深めたいと企画しました。

今回は、オンラインとリアル混合のハイブリットスタイルで実施しました。機材や通信状況などいくつかの課題を残したものの、講義内容は鈴木氏の専門分野で数多い経験とこれまでの研究が凝縮された素晴らしいものでした。

（リアル参加会場の様子）

NJKは常に一歩先を行くチャレンジ集団でありたいと願っています。今年度の企画は以下の通りです。オンライン講義スタイルの活用で、これまで以上に全国の会員と繋がり、広く外部の方にも参加いただける運営企画を提案します。

そこで、毎年開催の女性リーダーによるMPPは今年度、オールZoomでトライします。

Zoomが持つブレイクワーク機能で、グループセッションが可能です。全国からの参加が可能です。予約サイト利用で新規会員増強にも期待できます。是非ご利用ください。

〈お申し込み方法〉

予約先
https://coubic.com/njk_zoom/757924/

①左記のQRコード読み取りで
②予約ページアドレスで
https://coubic.com/njk_zoom/757924/
③直接NJKに申し込み
bzu03624@nifty.com
①②③のいずれかの方法でお申し込み

〈これからの開催予定企画〉

日	時	内　　容	参加形式
8/30（日）	13：30 ～ 16：30	女性リーダーによる公開 MPP	Zoom開催
11/14（土）	13：30 ～ 16：30	（株）なゆた大岩久恵氏によるフットケア健康経営	Zoom開催

「継続は力なり」NJKは来年創設10年目を迎えます。

研究会活動報告

第9回生産研究会の報告

生産研究会

生産研究会　山本　忠　記

新型コロナウイルス感染の拡大で延期されていました第9回生産研究会は、7月29日（水）にZoomを活用し開催（13名参加）いたしました。

今回からテーマは、「苦悩する主要産業の現況と展望」を取り上げ、中小企業製造業の取り組みについて研究するとともに最新情報・話題ニュースについて発表することになりました。

1. 研究テーマ：航空・宇宙産業の現状と将来～中小企業の航空・宇宙産業参入のかんどころ～

報告者　西　満幸氏（経営士・技術士）

1.1 航空宇宙産業に参入する意義：

①もっとも広がりのある将来産業として期待

・部品点数が多い：自動車の10 ～ 100倍（大型航空機）

・技術の展開、用途拡大

②多くの産業のイノベーションを先導する産業

・新幹線や自動車へ　・他産業への波及効果は自動車産業の3倍

③世界でも数少ない安定成長産業：年5%成長

④日本に最適な産業

・高い技術水準　・要素技術が多い　・システム統合による高付加価値が大

1.2 航空宇宙産業の参入上の課題：

①開発費がかかること／開発期間が長い

・開 発 費：自動車511億円　航空機8000億円

・開発期間：自動車4.5年　航空機6.5年

②経営の安定化と技術向上が課題：技術・製品開発への投資が大

③特定範囲での経済展開

2. 開発／生産関連のトピックス（情報・話題ニュース）

2.1 中国企業にかかる最近のトピックスを紹介：石原　群司氏

中国生産拠点の日本回帰に呼応した企業、中国マスクメーカ供給過剰で95%が破綻かなどの紹介があった。

2.2 東京・西多摩で輝く業績10倍の町工場を紹介：山本　忠氏

20年で売り上げを10倍に成長させた特注トランス・電源機器開発メーカ「NISSYO」のありえない町工場の秘密について紹介があった。

第10回 生産研究会

10月31日（土）17時～ 20時予定（Zoom活用）

・テーマ：自動車産業の試練と展望～中小企業はどう生き残るか～

・申込み：山本　忠［E-mail：yama-chu19-fukuei@sawn.ocn.ne.jp］

研究会通信

今こそ温故知新で前進を

生産研究会

（会員番号）209　平山 道雄（生産部会）

1, 一般的に生産管理とは何かを知るために広辞苑を引いてみる人が少なからず居られるのではないだろうか、そこには次のように書かれてある。

①企業経営に於いて、生産の予測・計画・統制など、生産活動全体の適正化を図ること。

⇨工程管理　⇨品質管理

②事業主が工場閉鎖などをした場合、労働者が事業の経営を自己の手に収めて経営を継続すること。戦後の日本で労働争議の手段として用いた。業務管理。

2, また、日本経営士会の元理事・生産部会長 並木高矣先生著「工業経営概論」には“生産管理とは工場の生産活動を総合的に統制するもの”と記されている。

即ち生産管理の目的は生産活動を合理的に運営することにあると言える。その為に現状把握・改善・合理化を推進する各種の手法・技法が、多くの立派な先達者たちにより考案され提唱されてきた、QCDS・PM・3S・5S・WF法・稼働分析・PDCAサイクル・5W2H・動作経済の原則・ブレーンストーミング法・オズボーンのチェックリスト・TQCその他数多くの生産管理に纏わる、また深く関連する手法・技法・考え方がある。これらを製品開発や生産工程・加工・組み立て技術などの改良・改善に向けて適在適所に於いて利活用し、均衡のとれた活用・活動が成され業界は成長してきた。

3, この様な生産管理手法・技法・考え方を必要とする業種は、自動車関連・家電製品関連などメーカと言われる工場・事業所以外に、建築業・飲食業・アパレル産業・農林水産物加工業・各種生活用品生産等々に充分利活用できるであろう。

4, 最近はIT技術の進展によりIoT・AI・ロボット・RPAなどが急速に発展し、遠隔操作・生産性向上・データ集計の迅速化・機械等不具合状況の即時発見など多くの場面で活躍している。生産管理の目的達成の為に現状把握の迅速化が実現され、品質・作業等の改善・改良に向けた行動が早く執れる良い傾向と思う。

5, 監視業務やデータ採取集計業務などITやロボットなど機械化を駆使して迅速に作成された情報を活用し、改善・改良また現状打開を図るには「人の持つ智慧」を使わなければ前に進むことは不可能である。この「智慧」にこそ従来から在る生産管理の各種技法や思想が詰め込まれていて欲しいものである。忘れられた古きものを呼び起こし、そこに含まれている考え方・思想を想起し、現代の生産環境の変化に立ち向かっては如何であろうか。

（以上）

≪投稿のお願い≫

生産環境が変化し不安定な現代の中で、生産管理に関するハード・ソフト夫々の面で考えられていること、また新規事項等お気付きのことをお寄せ下さい。

（皆で考える良い機会にしたいと願って居ます）

原稿送付先；経営士会事務局・生産部会宛　事務局のメールでお願い致します。

研究会通信

「一木会」Since 1969はZOOM研究会を開催中です！

一木会研究会

一木会研究会会長　西　満幸（東京支部）

一木会は日本経営士会の自主研究会として1969年に発足し、1975年に“「**夢のある一木会**」**一木会には夢がある!!　夢なき会はほろびる（ソロモン）**”を、2011年には“Change Challenge Create（**変革、挑戦、創造**）”と“**知行合一**（ちこうごういつ：知は行の始めであり、行は知の完成である）”をモットーに加え、52年目の活動に突入しています。

これも経営士の皆様方のご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

夢のある一木会

一木会には夢がある！！

夢なき会はほろびる（ソロモン）

1975年5月一木会採択

一木会　Since 1969

☆ Change Challenge Create
変革　挑戦　創造

☆ 知行合一

さて、一木会はそのネーミングの由来でもある毎月の第一木曜日に、東京の市ヶ谷にある「ホテルグランドヒル市ヶ谷」で開催してまいりましたが、コロナ禍のため、6月からは、下記のようにZOOM方式で開催しております。

【ZOOM開催研究会】

・6月4日（木）『Before CoronaとAfter Coronaにおける企業経営の変化と経営士のあり方』
　　＜講師＞ 福島 光伸氏（東京支部）　34名

・7月2日（木）『コロナ禍で変わった！女性経営士のパラレールワーク（働き方改革）』
　　＜講師＞ 吉村 千鶴子氏（北関東支部）　18名

・8月6日（木）『生命保険業界の〇〇〇な真実』 ＜講師＞ 中山 芳克氏（一般）　13名

上記のように、研究会の講演内容は参加者への「価値ある情報」の提供を目指して、経営，マーケティング，生産，人事，財務，IT等におけるアップデートな研究テーマを追求している経営士の方に講師をお願いしています。直近では、新型コロナ禍に関係する研究テーマを中心にご発表をお願いしています。

参加対象者は経営士の皆様を中心とし、所属支部に関係なく誰でも参加ができ、経営士の皆様だけでなく、経営士の皆様のクライアント企業の方、あるいはマネジメントに関心のある一般の方も参加できるオープンな研究会です。

【9月の一木会ZOOM研究会】

・9月3日（木）18:30～21:00　（20:15～　オンライン飲み会兼カフェタイム、参加自由）

・テーマ：『「With Corona」「After Corona」における経営士のコンサルティング視点』のZOOM大討論会

◆お申込み

一木会企画担当 大宮 政男　E-mail mykya2017@gmail.com　TEL 090-4001-7589

ZOOM開催ですので、全国の会員の皆様からのご参加をお待ちしています。10月以降の研究会についてもお問い合せなどがあれば、上記大宮までご連絡をお願いいたします。

会員の輪

コロナの影響で外国人技能実習生の現状

南関東支部（神奈川）　文　美子

昨年令和元年に日本経営士会に入会した文美子です。

世界で予想を超えた驚異の新型コロナウイルス、日本でも感染拡大が増えつつあり、人の移動が止まると共に経済も大きな打撃をうけているのが現実です。

新型コロナウイルスの影響で仕事を失う人がいる反面、人手不足のところもあります。

新型コロナウイルス以前から高齢者社会の日本は、国際貢献の目的で途上国の青壮年労働者を一定期間産業界に受け入れて、産業上の技能等を修得してもらい、期間終了後、母国に戻り母国の経済発展に寄与する制度があります。

私は外国から受け入れる技能実習生及び実習生を受け入れている企業さんを管理監督・外国人が日本に滞在するためのビザ申請諸手続きを行う仕事をしております。現在管理・監督している外国人技能実習生は200人、実習生を受け入れている企業さん23社、職種は機械加工及び家具製作、建設業界等が多く、主に北海道、東北、関東地区に外国人技能実習生を派遣しています。技能実習生は日本の産業界に欠かせない労働力でもあります。

日本の産業界をささえている外国人技能実習生は、今年の3月より新型コロナウイルスの影響で、技能実習を終了し帰国できる人が帰国できない、新期来日予定の技能実習生についても来日出来ない状況が半年間続いています。国際的な日の往来再開に向けた段階的措置に基づき、在ベトナム日本大使館において新期査証等の申請開催を7月29日より開始発表直後、日本で新型コロナウイルス感染者が増え続き、国際的往来が何時から始まるか先が見えないのが現状です。

幸い、私の監理団体で管理監督している実習生受入企業さんは、仕事の量は減っていますが、会社が倒産したり仕事がないため他の企業に外国人技能実習生を移動させる事なく、順調ではありますが、一日でも早く新型コロナウイルスに対策が出来る普通の社会に戻ることを祈るばかりです。

外国人技能実習生及び外国人労働者の監理監督の仕事を22年間携わってまいりました。外国人労働者の事でお悩みのある方はお気軽にご相談下さい。

■次回号は、南関東支部 石井 眞也 会員にお願いします。

会員広場

地域経営者倶楽部（仮称）創設したい

中国支部　盛重 芳文

知識が経験と技術を生み、技術が経済や生活成果を生み出す。技術が低いと生産性低く停滞、衰退する。ＴＰＯの知識習得は経験と技術向上し時流に発展。地域の衰退、空洞化の因は市民、事業主、幹部管理者の多面的知識の不足。地域経済、行政、街づくり、組織に隔靴掻痒、何故か。情報は横溢、しかし知識は欠乏。勘違いの連鎖。

地域事業主幹部に事業連携M&Aの情報はあっても知識は音痴。60歳以上のトップ幹部60%以上がパソコン音痴事務員依存。50歳以下の半数は独身、県や会議所等推進の婚活活動は嫌厭、拒絶に発展。知識と情報と技術の勘違い。

野菜を作るに土地耕耘施肥、季節、時間、収穫時期の適切ないと収穫は少ない。会計財務知識なくて経理財務技術は発生しない。構想、実験、開発、試作、パイロット生産知識無くして経験も技術も製造も発生しない。

街の発展、衰退も市民の知識量による構想、実験、開発、試作経験で技術が生まれるのでは。熱心な研究会、学習意欲無くて良い技術は生まれ難い。お上の取組み方針、一方的なカタカナ横文字先導が誤解生む恐れ大。事業の停滞、街の衰退は時流の知識不足から発生するのでは。時流の知識量が課題。将来のぼんやりを予測計画する知識が不足では。全ての出発点は知識とその量と質。地域事業者、トップ幹部は組織、地域を機動する要の存在。地域、事業の発展、衰退はトップ幹部の知識量に左右されるのでは。発展とは成長拡大と限りません。効率化、ゆとり、豊かさに変化して成長、発展。同じ生産を8時間を7時間で、一人当たり生産向上すれば楽しい生産。働き方改革ありたい姿。人口道徳法律対策を50年ミスコースして、50歳以下の半数が独身。高齢化のみ。世界先進国比較で格段の低生産性、日本は22番目の社会。M&A知識が事業者トップ幹部に横溢、事業連携が高生産性に作動すれば事業の発展、地域の成長に直結。大企業は専門家を抱え自由奔放、99%の地域の事業家、トップ幹部は無知。農作業知識無しに農作業をするが如し。他の経営や技術知識も同様では。トップ管理者個々の知識技術は深くても共有していない地域事業者。個々独立で連合、連帯機能は未熟。現代、情報は溢れ知識は目的別に集積閲覧する時代。知識、経験、交流から目的別に欲しい時に欲しいだけ得られたら。

宇部経営者倶楽部（仮称）を創設したい。経営士会で主導できたい。宇部経営者倶楽部は地域の経営トップ、管理者、志向者がいつでも欲しい情報を欲しいだけ見て、活用知識に、交流交換が技術に変換する場所となりたい。個々バラバラを拠出集積して安価に知識集積が可能になりたい。手持ちの経営書籍を供出、みんなが閲覧できれば。パソコンから会員の集積技術を閲覧引出し出来れば。永年の私の実用経営情報はすぐに活用可能に。

宇部経営者倶楽部 の目指したいもの

経営者人材育成研修センター　　知識　教習　学習　センター

知識　集積　活用　センター　　親睦交流　知見交換センター

経営士会主導で各士業家協働活動出来たい。

その会費は事業者なら月5000円～ 1万円、個人なら月1000円～ 5000円は高くないのでは。

（以上）

支部活動報告

2020年度　茨城県会7月定例会　開催結果
（公開MPP中止と新規事業計画素案のご紹介）

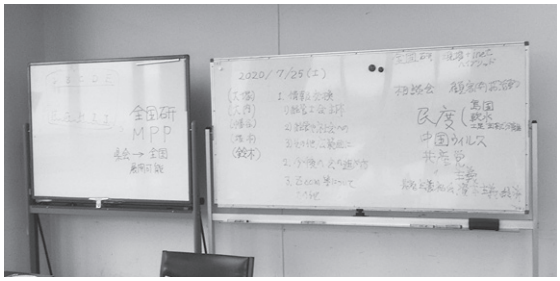
北関東支部

当会会員の皆様、当県会主催の定例会や公開MPPへのご参加ありがとうございます。
茨城県会の活動予定については、日頃から本誌末「支部活動予定」に示し、会員の皆様の活動に役立つよう配慮しています。不十分な点はご理解、ご了承お願いします。
本年初めからの「新型コロナ禍」により、通常の月例会をささやかに開催しているのみ、公開MPPについては残念ながら2／5／7月度連続3回中止、「新型コロナ禍」の状況が改善したら再開したく考えています。その節は奮ってご参加いただければ幸いです。
9月の公開MPPも開催不可が濃厚と予想、その節はご了承お願いします。
当県会会員については、年間計画を立てやすいよう年度初めの頃「年度活動計画書」のメール送信を恒例にしています。今後変更あったときはご了承お願いします。
なお、全員メール送信でご連絡でき効率的運営であり感謝します。

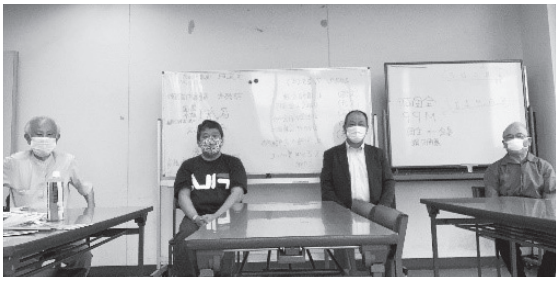
1. 月例会等の状況を以下のとおりご報告（現状と今後の期待事項）
   1）表面上無駄と思える中に受け止め方により重要事項があり、必ず情報交換会を実施
      茨城県会会員には経験、経歴が豊富で特色ある会員が多数
      中堅、働き盛りの会員が主流、高齢会員は少数、支部の分会として県会が機能
   2）会員歴の違う会員同士が知り合うことで新規ネットワークの構築が可能
      公開MPPへのご参加、経営士の提言作成を推奨、その他基礎的活動の重視
      会員外や県外会員との知的交流が可能（広範に役立つことを期待）
   3）会の歴史等広く情報共有が可能、会員外や県外会員と交流（MPP等掘り下げ可能）
2. 本年度4月　月例会以後　リモート会議を試行（順次の慣れを期待）
3. 新規事業を企画（ひたちなか商工会議所との次表の連携を模索）
   追加の参加希望者、予定者のご応募を期待
   以下の詳細をお読みいただきたく、重複を承知して議事録的記載です。

1. 定例会開催日：2020年7月25日（土）
   13：30 ～ 16：30（情報交換会、新規事業検討会、その他関連事項等）
2. 定例会参加者：大内 雅功、幡谷 貞賢、大塚 太郎、鈴木 勇、塚本 裕宥（敬称略　計5名）
3. 開催場所：ひたちなか市　ひたちなか商工会議所
4. 新規事業展開等：経営士会茨城県会として事業受託と地域貢献への進展を期待
5. 今後の予定：順次情報交換会を実施
6. 参加予定会員：当面の引き受けの主な相談内容等（以下敬称略）
   保坂 陽子：ショップカード、広範な各種デザイン等
   竹俣 大介：多店舗展開、外食等のフランチャイズ事業等
   佐藤 久彰：B2B新規獲得策、ホームページ等販促物作成等
   大内 雅功：全般的経営相談、おもてなし規格認証取得等
   備　　考：個別に知的財産権のご相談にも対応の予定
7. 折衝窓口：ひたちなか商工会議所　当県会の当面の主担当：大内 雅功
8. チーム編成：茨城県会会員を主体に支援の輪を展開予定

（茨城県会　定例会　写真提供　大内 雅功会員、お世話係　塚本 裕宥）



（定例会の検討内容）


（定例会の参加者）

支部活動報告

北関東支部新潟県会　第27回公開MPP

北関東支部

北関東支部新潟県会長　磯部 正美

新潟県会　第27回　公開MPP

日　時	2020年7月11日（土）　13：30 ～ 16：30（3時間）	
会　場	長岡市まちなかキャンパス　交流ホール	
出席者	新潟県会	磯部県会長、渡辺副会長、木村副会長、桑山支部長 粉川会員、鈴木会員
	一般参加者	櫻井智子氏、佐藤憲一氏、原沢亮太氏

北関東支部新潟県会では、平成22年より、会員外からも参加者を募り、公開MPPを開催しています。（他支部の会員も参加しています。）コロナ禍の影響で、会場の利用制限があり、県外者の利用ができないため、新潟県内在住者での開催となりました。本来定員32名の会場ですが、椅子の数が半分に減らされ、16名定員、定期的な換気とマスク着用、入室前の消毒、終了後の清掃など施設のルールを守りながらの実施で、1人1テーブル十分な間隔を取り、新しい生活の中でのMPP実施を模索する貴重な経験となりました。

ケースはNJK女性経営士の会が作成された、「老舗和菓子店女性経営者の判断」を使い、Aチーム5名、Bチーム4名の2チームに分かれてスタート、Aチームには初参加者2名が入り、MPP委員長でもある桑山支部長からレクチャーを受けながら討議に入りました。

東京の老舗和菓子店の現状把握、メンバー個々のイメージを統一し、設問についてチームの成案を協議してまとめました。発表は、各チームの一般参加者からやっていただき、質疑では、チームメンバーが、フォローするなどよいMPPになったと思います。初参加の方から、また、機会があれば参加したいとの感想をいただきました。発表後、全員で会場の原状復帰と清掃を行い終了しました。恒例の懇親会は、自粛しましたが、今後も継続して公開MPPを開催していきたいと思っております。

以上

Aチーム発表（櫻井氏）

Bチーム発表（原沢氏）

千葉支部活動報告

千葉支部

コロナウイルスの感染問題による自粛生活の中で、支部活動も思うようにできない状況でした。6月に入って緊急事態宣言も解除され、ようやく幹事・運営委員会及び勉強会“中小企業3Cの会”が開催できるようになりました。6月と7月の“中小企業3Cの会”を報告いたします。

開催日　：　6月27日（土）、7月25日（土）
会　場　：　船橋市中央公民館第6・7集会室
時　間　：　15：00～17：00

（6月3Cの会　　講師　古畑達雄　会員）

第51期経営士養成講座修了者で昨年12月に千葉支部に入会されました。「外資系出身者の私が中小企業に出来ること」と題して、40年に亘る外資系企業に勤められドイツ・アメリカ・インドネシアの企業に勤務され、私たちのあまり知らない細かな点まで説明をして頂きました。

（7月3Cの会　　講師　桐谷しげ子　氏）

賛助会員である（株）なゆた　大岩社長の紹介で桐谷しげ子様に日本の保育に関してお話を頂きました。

日本の将来を担う最初の教育のスタートともいうべき幼児教育に長くおられ、将来の日本を背負っていく子供たちへの思いを熱く語って頂き、出席された皆さんは大いに心を打たれたようでした。

以上

（鈴木　淳　記）

支部活動報告
今後の活動予定ならびに【リベラルアーツ祭り】開催のご案内

埼玉支部

本年5月より柴田新支部長のもと新体制にて埼玉支部の活動を開始しました。定期的に月例会や幹事会を開催し会員相互の意見交換ならびに毎回情報提供者を決め各テーマに沿った例会を実施しております。例会及び幹事会におきましてはZOOMを有効活用し多くの会員の皆様方に参加していただけるよう取り組んでまいります。また埼玉支部のホームページを開設準備中です。

【活動報告】

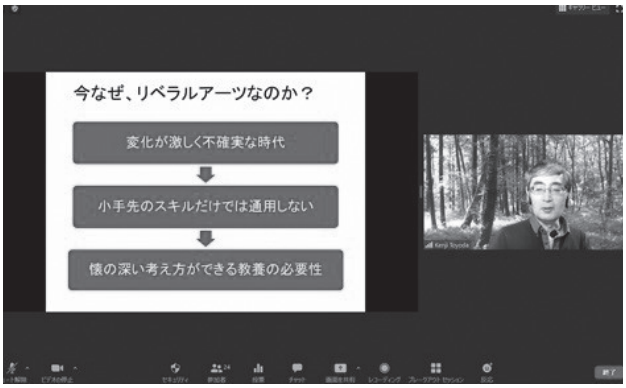
①6月 5 日（金）18：00 ～　幹事会　　志木サテライトオフィス会議室にて

②6月21日（日）16：00 ～　埼玉支部通常報告会（ZOOM）

③7月23日（祝）16：00 ～　月例会（ZOOM）『リベラルアーツ祭り』プレゼンテーション

話題提供：豊田会員・春原会員

（ZOOM例会の様子）



（ZOOM例会での「リベラルアーツ祭り」プレゼンテーションの様子）

【今後の月例会（活動）予定】他支部からのご参加大歓迎！ shibata@telework.to宛ご連絡ください。

①8月16日（日）16：00 ～　月例会（ZOOM）　［終了後は幹事会を予定］

『管理会計マネジメント・コンサル～成功・失敗事例を中心に』話題提供：堀脇会員

②9月21日（祝）16：00 ～　月例会（ZOOM）　［終了後は幹事会を予定］

『ロータリークラブ・プレジデントの経験を踏まえて（仮題）』話題提供：渡部会員

【埼玉支部・特別イベントのお知らせ】　＜他支部からのご参加、大歓迎！＞

『リベラルアーツ祭り』開催のご案内

テーマ：《音楽ホールで行う異色のイベント》リベラルアーツに親しむ人って素敵！！

・日　時：2020年11月3日（火・文化の日）10：00 ～ 17：00（開場9：30）

終了後に懇親会を開催します。

・場　所：関交協ハーモニックホール　　東京都新宿区西新宿7-21-20　関交協ビルB2

（丸の内線 西新宿駅 1番出口徒歩5分 やよい軒隣）http://www.harmonichall.jp/

・申込み締め切り：2020年10月16日（金）　※但し定員になり次第締め切りさせていただきます。

（1）「リベラルアーツ祭り」（無料）　（2）懇親会（懇親会費￥5,000）

・参加方法：メールから k-sys55@jcom.home.ne.jp　　FAXから 048-882-6051（豊田あて）

※多数の皆様方のご参加をお待ちしております。

※近日公開の埼玉支部ホームページ内に詳細のご案内および申込書を掲載します。

東京支部活動報告

東京支部

■支部報告会

例年、有志の会員様にご出席をいただいて開催しておりました「定例（通常）報告会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とさせていただき、書面によるご報告と確認に代えさせていただきました。今年度も会員の皆様の当会におけるご活動のお役に立てるよう支部運営をしてまいります。

■東京支部研究会の活動実施

昨年秋より東京支部では5研究会を立ち上げるべく活動しております。現在は2つの研究会が始動しており、ZOOMを使った研究会として、東京支部会員のみならず遠方の中日本ブロック内の会員の皆様にもご参加いただいております。

1. 事業承継研究会

第1回は3月14日（土）、第2回は4月26日（日）、第3回は5月27日（水）に開催
第4回 2020年6月24日（水） 19:00～20:30 ／ ZOOM 「親族内承継における課題・問題点」
第5回 2020年7月23日（木祝） 10:00～11:30 ／ ZOOM 「第三者承継のM&Aのポイント」
第6回 2020年8月19日（水） 19:00～21:00 ／ ZOOM
「事業承継のコンサルティングメニュー化の模索」

2. 経営デザイン・知的資産経営研究会

第1回 2020年6月21日（日） 10:00～11:30 ／ ZOOM
「経営デザインシート活用法ディスカッション」
第2回 2020年7月18日（土） 16:30～18:30 ／ ZOOM 鈴木 和男会長 特別講演
「Beyond CORONAにこそ発揮する知的資産経営」
第3回 2020年8月22日（土） 10:00～11:30 ／ ZOOM
「日本経営士会の経営デザインシート作成①」

■支部運営業務にて「Gsuite」の運用開始 ＜2020年8月1日より＞

支部内事務の生産性向上とセキュリティーを強化した情報の一元管理のため、東京支部ではGsuite（ジースイート）を使ったクラウド情報管理と運営に移行中です。これにより膨大となっていた支部の運営業務について、生産性向上はもちろんセキュリティー強化と広報業務などを含めた情報一元化を行います。移行に伴い、これまで使用していたBIGLOBEメールは廃止とさせていただき、使用ドメインを支部ホームページと同じkeieishi-tokyo.comに統一させていただきます。また今後は、このGsuiteと連携した支部ホームページの改訂を進めてまいります。

■今後のセミナー・研究会スケジュール

※お申込み方法や参加費用などは、詳細が決定し次第、東京支部広報メールにてお知らせ致します。

◆中小企業白書セミナー◆

2020年10月21日（水） 15:00～17:30 開催場所：弘済会館（千代田区麹町5-1）またはZOOM
講師：中小企業庁事業環境部調査室 花井 泰輔 様
※新型コロナウイルス対応のため、安全を第一に実施いたします。変更にご注意ください。

◆事業承継研究会◆ZOOM

第7回 2020年9月19日（土） 13:30～16:30 事業承継セミナー（予定）

◆経営デザイン・知的資産経営研究会◆ZOOM

第4回 2020年9月12日（土） 10:00～11:30 「日本経営士会の経営デザインシート作成②」
第5回 2020年10月17日（土） 10:00～11:30 「日本経営士会の経営デザインシート作成③」

東京支部以外の方で直接セミナーや研究会の情報をご希望の方は、東京支部広報pr@keieishi-tokyo.comまでご連絡ください。

（東京支部広報 渡邊 一恵）

支部活動報告

山梨経営支援センターについて

南関東支部

山梨経営支援センター（南関東支部）
センター長　一瀬 良之［No.4994］

本年度から山梨経営支援センター長になりました一瀬良之と申します。山梨経営支援センター（以下、当センター）の活動状況などのご紹介をさせていただきます。

当センターは会員数24名の小さな所帯です。情報共有の円滑化と会員個人のスキルアップ支援のため、8名の運営委員による運営委員会で、イベントの企画やスケジュール・運営内容に関する話し合いを行っています。

当センターの今年度の活動方針は、以下の通りです。

1. 組織活動の強化と運営の取り組み（定例会、研究会、外部との連携）
2. 各自の経営コンサル能力の強化に向けた取り組み（他支部勉強会参加、ミニセミナー）
3. 収益性のある事業の確保に向けた取り組み（生産性向上の受託事業、ポリテクセンター受注他）
4. 当会/センターの認知度向上（活動を続ける中でのPRとメディア活用）

基本は、昨年までの当センターの取り組みを踏襲したものではありますが、①経済・社会・文化等に関する諸問題を調査研究し、地域経済の発展に貢献する。②地域企業・組織の経営支援とこれを支える人材育成等を行う。③人材育成指導者として積極的に研鑽し、会員相互の連携を図る。という当センターの活動目的に沿って活動してまいりたいと思います。

新型コロナウイルスの感染防止のためリアルに集まることが難しい状況ですので、ZoomによるTV会議とメーリングリスト（全員用と運営委員用）を使用して、情報の伝達とコミュニケーションを図っています。

毎月開催予定の定例会は、今年度はこれまで2回、Zoom形式にて開催いたしました。定例会では諸連絡の他に、会員によるミニセミナーや個別の研究会を開催しています。

当センターでは二人以上のチームによる顧客支援を重視しています。ミニセミナーには、個人のスキルアップや最新の情報に接するという目的の他に、各会員のスキルを共有化するという側面もあります。

今年度も9月に経営士補養成講座を開催する予定です。春季は中止とした公開MPPについても、秋季の開催を検討しております。また山梨女性経営士の会（YJK）もNJKと連携して、イベント開催などの活動を行ってまいります。

最後に当センターにおける新しい試みをいくつかご紹介しておきます。

○HPの他に情報伝達手段を増やすためと速報性を高めるため、一般公開用と会員向けの二つのFacebook（FB）を立ち上げました。FBの機動性を活かしタイムリーな情報発信を行ってまいります。

○今年度は会員全員のLINEグループを設定し、情報共有と伝達速度アップを図っていく予定でおります。すでに運営委員会のLINEグループを作成し運用を開始しています。

○専用サーバーを持たない当センターで、セミナーでの発表資料や各種の情報データを専用のクラウドに保存し、会員間で情報共有することを計画しています（現在運用テスト中です）。

コロナ禍の下ですが、当センターは南関東支部のみならず、中日本ブロックや他の支部・センターとも連携して活動してまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

支部活動報告

中部支部活動

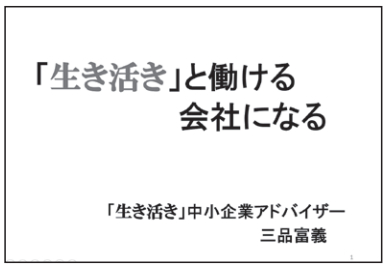
中部支部

報告者：梅本 泰則

●セミナー研究会

日　時：2020年6月14日（日）14:00～16:00　　場　所：オンライン
テーマ：ZOOM「10分セミナー」　　講　師：三品富義

今回はセミナー研究会として、セミナーでの話し方の構成について検討しました。題材は、三品会員が（一社）日本パーソナルブランド協会主催のセミナーコンテスト名古屋大会で発表する予定の10分セミナーです。タイトルは「生き活きと働ける会社になる」で、オンラインにて発表をしていただきました。発表後、セミナーの内容について参加者全員でフィードバック。三品会員は、セミナーの内容はもとより、表現方法、動作、滑舌にも注意が必要。そして重要なのは、10分の短い時間でいかに相手（受講者）に理解され納得してもらえるがカギだと強調されます。そのためには、話の組み立てがポイントで、自己紹介＋PREP法（Point－結論、Reason－理由、Example－事例、Point－結論）で話すことだと教えていただきました。また、聴いている人がその内容について感動し、受講者が今後に活用してみたいと思える内容でないと良いセミナーにはならないと、強調されました。三品会員の話だけなく、参加者皆さんのフィードバックも含めて大変良い勉強になりました。



（セミナー表紙）

●経営研究会

日　時：2020年6月28日（日）14:00～16:00　　場　所：オンライン
テーマ：「バランススコアの活用法」　　講　師：江口敬一

（Zoom実施中）

会社経営においては、経営戦略・経営計画を各種のフレームワークやロジックの活用により作成することが多いです。ところが、えてしてそれは絵に描いた餅になりやすいものです。そこで、今回紹介されたバランススコアカードを活用すれば、実行可能なアクションプランに結びつけることができます。バランススコアカードは、「財務」「顧客」「業務」「人材」の4つの視点から現状分析と問題抽出を行い、戦略マップを作り上げるものです。そして、その大きな特徴として、4つの視点それぞれに、戦略目標（KGI）、重要成功要因（CSF）、重要評価指標（KPI）を設け、アクションプラン（実行手段）を決定していくということがあげられます。今回はその実例として、ある出版社のバランススコアカードの作成手順が詳しく紹介されました。実際にこのバランススコアカードを作り上げて戦略マップに仕上げるまでには、かなりの時間と労力が掛かります。しかし、経営計画を実行していくうえでバランススコアを活用することが大変有効であることが、江口会員のお話でよく理解できました。

支部活動報告

四国支部例会開催（5月・6月）

四国支部

四国支部では、5月21日に例会を開催しました。昨夏より取り入れたzoomにて武漢発で世界を震撼させている新型肺炎対策としての補助金についてそれぞれ専門分野の複数の講師が解説を行ないました。

各分野の会員もそれぞれの顧問先などで声が上がっている助成金制度。中でも厚労省関係で雇用調整助成金は以前リーマンショックの頃に製造関係の会社にはなじみがありましたが、大幅に条件が変わり、特例制度が出来てから後に支給率も複数回変更になるなど内容を理解する前に中身が変わったりするので、最新のものをできるだけ簡単に解説を行ないました。人数は15名を超えての参加で、通常の例会では時間がとりにくい方や遠方の方も参加できるのでより多くの会員にお伝えできました。

（5月21日zoom例会の模様）

（6月23日zoom例会の模様）

続いて6月23日に助成金の続編として例会を行ないました。5月に解説後にも書類の簡素化や制度そのものの延長など変更事項が盛りだくさんで、参加会員は非常に熱心に耳を傾けておられました。そのほか経産省系の補助金やその他コロナ対策としての特例助成金・補助金制度などについても意見交換を行ないました。実際に運用されている会員の話やその中から出てくる疑問などについても現場の声としての意見交換ができたと思います。会員歴の浅い方でもどんどん意見が出るので頼もしい限りでした。

四国支部は、エリアとしては狭いかもしれませんが、交通インフラ等や主に現役世代が中心なので出張や仕事でどうしても会社をあけられない方が多くいて、なかなか大勢の方が1か所に集まることが困難な現状であります。そんな中このような方式を取り入れることによって従来の例会よりも参加者が増えるということにもつながったように思います。今後日本中が平常を取り戻しても、このような例会の方式を年に数回は取り入れてより多くの会員の方との意見の交換などを行なっていこうと思います。

支部活動報告

四国支部女性経営士の会活動報告

四国支部

7月22日(水)に、久しぶりに対面でのミィーティングをすることができました！

四国支部女性経営士の会(以下、当会と表現させていただきます。)では、自分たちの強みを活かして、地域に貢献できないかと、話し合いを重ねてきました。

当会の強みとは…

・さまざまな専門分野がある(社労士、web解析士、ITコーディネーターなど)

・コンサル以外の実務経験がある(エステ、福祉、販売、ホームページ制作など)

・チームワークが良い(1つの窓口で、さまざまな悩みにチームで対応できる)

などです。

そんな中、コロナの影響などで、話し合いが中断されてしまいましたが、本ミィーティングでは、下記のような事が決まりました。

・起業して3 ～ 5年のステップアップをしたい経営者を支援する研修とコンサルを始める

（競合分析や、各経営士の強み、受講者ニーズの分析などをもとに絞り込みました。）

・状況を鑑みて、ZOOMなどのオンライン研修を活動領域に入れる

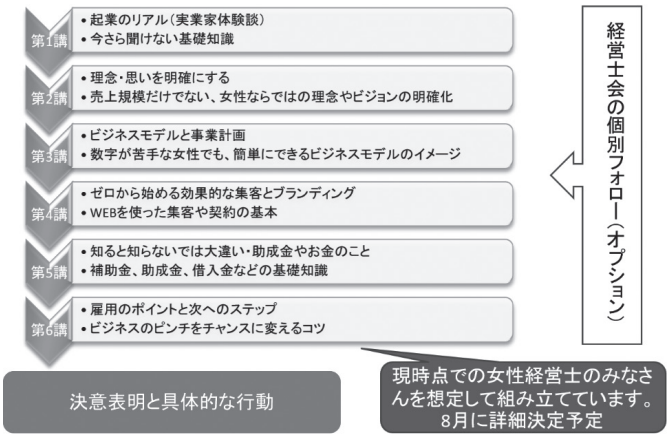
・地方銀行などとのタイアップや、SNSの活用で、テストマーケティングを行う

とは言え、現状を鑑みると、さまざまな課題があるのが事実です。

ですが、「まずはやってみよう！」というチャレンジ精神で、この秋からのモニター研修を皮切りに、具体的に行動していくこと確認しあいました。

次回は、8月の予定です。

（四国女性経営士の会　山本 かおる）



研修の概念図(仮)

たくさんのスイーツを囲みながら、会話が弾みました。女性ばかりでなく、男性経営士も参加していただき、四国支部全体で盛り上がっています！

第53期経営士養成講座開催のお知らせ

本部・中日本ブロック共催　埼玉支部主管

日本経営士会は次代を担う経営コンサルタントを養成します。

第53期養成講座は、受講生・講師の皆さんの安全を第一に、コロナウイルス対応を十分に行い実施いたします。初日/第3日/最終日は、十分な換気・ソーシャルディスタンスの確保・体温管理・マスク着用、手指の消毒を実施した集合研修とし、それ以外の日の講義はZoomオンラインを基本に行います。緊急事態宣言発出の場合は、中止の判断もいたします。

◆開　催　日：全10回　（土・日曜日を中心に開催）
（10/10開講日、10/17、10/24、10/31、11/7、11/15、11/28、12/5、12/12、12/19修了日）

◆会　　場：一般社団法人日本経営士会　本部会議室及び実務研修先
（〒102-0084 東京都千代田区二番町12-12 B.D.A.二番町ビル5F会議室）

◆募 集 人 員：16名（定員になり次第締め切らせていただきます）

◆受　講　料：220,000円（消費税込）

◆お問合わせ：一般社団法人日本経営士会　事務局
TEL　03-3239-0691　　E-mail　office@nihonkeieishikai.com

◆詳細は別途ホームページ等でご確認下さい。※コロナ対応にご注意ください。

★会員各位へお願い★
経営士、日本経営士会にご関心のある方へ是非経営士養成講座の受講を勧めて下さい。

試験・講座のご案内

行事･研修･セミナー	日　時	開催場所	詳　細	申込方法など
環境経営士養成講座 ベーシックコース	9月12日（土） 10:00～17:30	Eラーニング （Zoom）にて予定	募集人員：10名 受 講 料：13,000円（税込）	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。
環境経営士養成講座 アドバンストコース	9月19日（土）・20（日） 2日間 10:00～17:30	Eラーニング （Zoom）にて予定	募集人員：10名 受 講 料：25,000円（税込）	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。
第106回経営士試験	11月1日（日）	日本経営士会 本部会議室他	受 講 料：10,000円（税込）	当会HPをご覧下さい。
環境経営士養成講座 ベーシックコース	11月14日（土） 10:00～17:30	Eラーニング （Zoom）にて予定	募集人員：10名 受 講 料：13,000円（税込）	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。
環境経営士養成講座 アドバンストコース	11月21日（土）・22（日） 2日間 10:00～17:30	Eラーニング （Zoom）にて予定	募集人員：10名 受 講 料：25,000円（税込）	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。

■2020年8月末現在のご案内です。状況により中止、変更等が生じる場合があります。

支部・研究会活動予定

【北関東支部】
（茨城県会）
＊茨城県会公開MPP
9月26日（土）13：30～16：30
＊茨城県会月例研究会
（経営士の提言、MPPケース作成、その他）
10月17日（土）13：30～16：30
12月19日（土）13：30～16：30
1月30日（土）13：30～16：30
（会場は毎回 ひたちなか商工会議所）

【TAMAマネジメント研究会】
9月26日（土）14：00～17：00
10月24日（土）14：00～17：00
11月28日（土）14：00～17：00
（Zoomオンライン方式による開催予定）

【中部支部】
＊「メッセナゴヤ2020」研究会
9月20日（日）13：30～15：30
会場：名古屋市教育館

広告／インフォメーション

素焼きアーモンドを毎日の食卓に取り入れてみませんか？

PR

アーモンドは、エイジングケアに欠かせないビタミンEが豊富です。食物繊維がレタスの約9倍も含まれており、毎日食べ続けることでカラダの中から健康になるスーパーフードなのです。

食べ切りサイズ15gを**100袋以上から1袋あたり税抜90円にて**配送させて頂きます。
さらに、**400袋以上のご注文は1袋あたり税抜70円**にさせて頂きます。
どちらも送料込みのお値段となります。
賞味期限は210日です。

ご注文お待ちしております！

【弊社事業】
①菓子を用いた販売促進物・宣伝物の企画・製作
②菓子専門商社業
③週一回からのパートタイム経理部長サービス
（月次決算早期化、資金繰り表見える化　等）

【お問合せ先】
株式会社バーニングスピリッツ
代表取締役　堺　剛
携帯電話：090-2733-0185
メール：tsakai@burningspirits2017.com

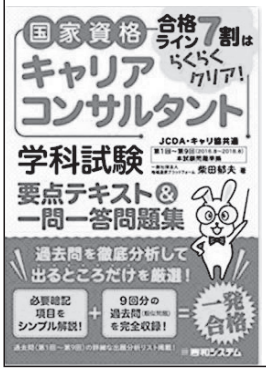
経営士とのダブル・ライセンスで仕事幅拡大
国家資格キャリアコンサルタント
に挑戦！ は、いまがチャンス！

国が力を入れコンサルタントと名乗れる名称独占資格。従業員のやる気が高まり企業業績アップ。質問力、ファシリテーション力、カウンセリング（コーチング）スキルが身につく、生涯現役職種。

PR

受験資格が得られ、すぐに国家資格者になれる
【厚生労働大臣認定・キャリアコンサルタント養成講習】
http://careerjp.work/cc1/

【経営士向け → 3大特典】
- **受講料が最も廉価**：他校よりも数万円安く、入学金も免除。さらに消費税分値引。
- **合格サポート制度**：**「受験対策講座」が合格まで何度でも無料に！**：通常1日2万円（他校も同様）の対策講座を何度受けても無料に！
- **貴重な過去問題集＆回答を無料贈呈**：通常入手できない当校オリジナル版。



説明会随時開催！

一般社団法人
地域連携プラットフォーム
TEL：048-476-4600
FAX：048-476-4607
E-mail：info@careerjp.work
〒353-0006
埼玉県志木市館2-5-2鹿島ビル4階
代表理事　**柴田郁夫（経営士4756）**
国家資格キャリアコンサルタント
国家検定1級キャリアコンサルティング技能士
国家検定2級キャリアコンサルティング技能士

《お知らせ》

日本経営士会のホームページURL及びオフィス、事務局員のメールアドレスが下記の通り変更になっております。ご連絡は新メールアドレスにお願い致します。

新URL　https://nihonkeieishikai.com
オフィス　office@nihonkeieishikai.com　　原田 みどり　harada@nihonkeieishikai.com
竹下 克美　takeshita@nihonkeieishikai.com　　田中 洋子　tanaka@nihonkeieishikai.com

「経営士の提言」執筆のお願い

日刊工業新聞社のご厚意により、日刊工業新聞紙面に「経営士の提言」の欄を設けていただいております。日本経営士会並びに「経営士」の活動を知って頂く絶好の機会になりますので、会員各位の積極的な寄稿を是非お待ちしています。執筆の要領は下記の通りです。

■「経営士の提言」執筆要領

内　　容：「モノづくり産業を中心とした経営的視点から」読者・関連業界に参考になる提言・提案を執筆して下さい。
字　　数：900 文字（末尾に氏名と電話番号を記載）
紙面掲載：毎週木曜日
原稿作成：文章は常体「だ・である」でワード作成の上、メール添付等にて本部事務局宛てにお送り下さい。（メールアドレス　office@nihonkeieishikai.com）
＊掲載内容は、日刊工業新聞社の編集部が決定します。

Management Consultant

経営に知恵と革新 Intelligence and Innovation in Management